

2002年4月1日付新入社員の入社式について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、本4月1日付をもって次のとおり新入社員を迎えました。

大学院・大学卒社員		14
(内訳)	事務系	8
	技術系	6
高校卒社員		6
計		20

2. 本日、大学院・大学卒社員入社式で、当社社長 高萩光紀は訓示を行いました。その要旨は次のとおりです。
『新入社員のみなさん、入社おめでとう。少数ではあるが、若く澁刺とした新しい仲間を迎えられることを大変嬉しく思う。現在、日本経済は出口の見えない混迷の中にあるが、石油業界においても特石法廃止に始まった規制緩和以来、各社とも生き残りを賭けた厳しい競争を繰り広げてきた。そうした中、当社は事業基盤の強化のため、経営変革に取り組んできたが、さらに本日付で鹿島石油と人事を一元化するとともに、本年10月には共同持株会社の設立も予定しており、グループ全体の競争力を一層強化していくこととしている。こうした状況の中で入社される皆さんには次の4点をお願いしたい。』

● 「早く仕事のプロになる」

「この分野においては、誰にも負けない」と自信をもって言える専門分野を持っていただきたい。

● 「常に経営の観点から物を見る」

常に自分が経営者だったらどう判断し、どう行動すべきだろうかということを考えて欲しい。そうした一人ひとりの緊張感あるいは熱気が、会社全体に新たな変革の風を吹き込むと信じている。

● 「世の中の流れをしっかりと見定める目を養う」

情報社会の進展に伴って、情報の量、質、スピードが飛躍的に上昇した結果、情報自体が世の中の動きをミスリードする事態が生じている。いたずらに情報に踊らされることなく、物事の本質をしっかりと捉え、迅速的確な判断や行動に結びつける力を身につけて欲しい。

● 「良き社会人たれ」

皆さんは「当社の社員」である前に「ひとりの社会人」である。当社の基本理念に掲げているように、一人ひとりが、仕事を離れたところでも「ひとりの社会人」「ひとりの市民」として、社会規範・倫理に則し、良識ある社会人として行動していただきたい。』

以上